

平成30年ニセコ町議会予算特別委員会 第2号

平成30年3月13日（火曜日）

○議事日程

- 1 議案第15号 平成30年度ニセコ町一般会計予算
- 2 議案第16号 平成30年度ニセコ町国民健康保険事業特別会計予算
- 3 議案第17号 平成30年度ニセコ町後期高齢者医療特別会計予算
- 4 議案第18号 平成30年度ニセコ町簡易水道事業特別会計予算
- 5 議案第19号 平成30年度ニセコ町公共下水道事業特別会計予算
- 6 議案第20号 平成30年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算

○出席委員（10名）

- | | |
|---------|----------|
| 1番 木下裕三 | 2番 浜本和彦 |
| 3番 青羽雄士 | 4番 斉藤うめ子 |
| 5番 竹内正貴 | 6番 三谷典久 |
| 7番 篠原正男 | 8番 新井正治 |
| 9番 猪狩一郎 | 10番 高橋守 |

○欠席委員（0名）

○出席説明員

- | | |
|------------|------|
| 町長 | 片山健也 |
| 副町長 | 林知己 |
| 会計管理者 | 千葉敬貴 |
| 総務課長 | 阿部信幸 |
| 総務課参事 | 黒瀧敏雄 |
| 企画環境課長 | 山本契太 |
| 税務課長 | 芳賀善範 |
| 町民生活課長 | 横山俊幸 |
| 保健福祉課長 | 折内光洋 |
| 農政課長 | 福村一広 |
| 農業委員会事務局長 | 藤田明彦 |
| 国営農地再編推進室長 | 前原功治 |
| 商工観光課長 | 高瀬達矢 |
| 建設課長 | |

上 下 水 道 課 長	石 山 康 行
総 務 係 長	桜 井 幸 則
財 政 係 長	川 埜 満 寿 夫
代 表 監 査 委 員	小 松 弘 幸
教 育 長	菊 地 博
学 校 教 育 課 長	加 藤 紀 孝
町 民 学 習 課 長	佐 藤 寛 樹
学 校 給 食 セ ン タ ー 長	高 田 生 二
幼 児 セ ン タ ー 長	酒 井 葉 子
農 業 委 員 会 長	荒 木 隆 志

○出席事務局職員

事 務 局 長	佐 竹 祐 子
書 記	中 野 秀 美

◎開議の宣告

○委員長（篠原正男君） ただいまの出席委員は10名です。

定足数に達しておりますので、これより予算特別委員会を開きます。

ただいまから本定例会において予算特別委員会に付託されました議案第15号 平成30年度ニセコ町一般会計予算の件から議案第20号 平成30年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算までの件6件についての審査を行います。

審査に入る前に、予算特別委員会に説明のため出席した者を報告します。説明のため出席した者は、町長、片山健也君、副町長、林知己君、会計管理者、千葉敬貴君、総務課長、阿部信幸君、総務課参事、黒瀧敏雄君、企画環境課長、山本契太君、税務課長、芳賀善範君、町民生活課長、横山俊幸君、保健福祉課長、折内光洋君、農政課長農業委員会事務局長、福村一広君、国営農地再編推進室長、藤田明彦君、商工観光課長、前原功治君、建設課長、高瀬達矢君、上下水道課長、石山康行君、総務係長、桜井幸則君、財政係長、川埜満寿夫君、代表監査委員、小松弘幸君、教育長、菊地博君、学校教育課長、加藤紀孝君、町民学習課長、佐藤寛樹君、学校給食センター長、高田生二君、幼児センター長、酒井葉子君、農業委員会会長、荒木隆志君、以上の諸君であります。

◎審議方法

○委員長（篠原正男君） お諮りします。

本予算特別委員会に付託されました議案の審査における質疑については、議事の都合上、歳入または歳出ごと、あるいは款ごと、または委員長から諮る区分ごとに1人3回までといたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

よって、議案審査における質疑は、歳入または歳出ごと、あるいは款ごと、または委員長から諮る区分ごとに1人3回までとすることに決しました。

なお、質問の際は必ずページ番号と件名を明確に教えてください。

◎議案第15号

○委員長（篠原正男君） 議案第15号 平成30年度ニセコ町一般会計予算の件を議題といたします。

既に本会議におきまして提案説明並びに細部説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

初めに、歳出の款ごとの質疑を行います。まず、1款議会費及び2款総務費について質疑を許します。質疑はありませんか。

猪狩委員。

○9番（猪狩一郎君） まず、70ページの19節、中ごろの提言・実践首長の会というのは、これはどういう会なのか、それとそれから4つ目の下で、農村文明創生日本塾負担金、これはどういう会

か、それと71ページのこれは7目の報酬で、71、72も関連あるのですけれども、集落支援員と地域おこし協力隊の協力隊が昨年より減って、集落支援員の予算がふえているということは、減ったということなののですけれども、これ協力隊をふやしていったほうが将来的にニセコに残る残留率が高いのではないかと思うのですが、いかがなものでしょうか。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） まず、70ページの提言・実践首長会につきましては、平成14年の8月に設立されて、全国の有志の首長約50人から成った政策提言、それから各種政策の実践検討などを行う団体ということで、ニセコ町も町長が参加をしていると。ちなみに、久住見附市長さんが会長さんを務める団体ということでございます。

それから、農村文明創生日本塾については、農山村に根差した個性豊かで多様な文化や暮らしの持続と発展を国民運動として目指すという団体でございまして、平成28年度に設立された団体ということで、今ニセコ町もこれに加入しているということでございます。

それから、71ページの集落支援員の部分と、それから協力隊ということでございますが、確かに協力隊につきましてはふやしたほうが確率として地元に残るところはありますので、ことしについても予算は少し、去年よりは報酬等は下がりますけれども、全体としては11名分で、なるべく減らないようにご協力をいただきながら、ニセコの地域のまちづくりも資するような取り組みをしていただきながら、かつ地元に残っていただくというような、そういう丁寧な取り組みをしてみたいと考えているところでございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 2番、浜本和彦君。

○2番（浜本和彦君） 60ページ、13節委託料、これ説明があったかと思うのですが、再度細かく説明をいただきたいと思えます。

○委員長（篠原正男君） 阿部総務課長。

○総務課長（阿部信幸君） 委託料全体の説明ということでよろしいですか。まず最初に、一番上の図面デジタル化業務委託につきましては、説明でもご説明したように庁舎内の書庫等を専有しております図面等のデジタル化を進めたいということで、劣化も進んでいるということから、実は平成29年に一部試験的に実施しておりまして、平成30年度には9,000枚のうち半分の4,500枚余をデジタル化する予定で予算を計上しているものでございます。

続きまして、北海道情報自治体セキュリティークラウド運用保守業務委託料ですが、道内の市町村のインターネット接続を一本化してセキュリティー強化を行っているところの運用経費の分の委託料でございます。

続きまして、文書目録管理システムの保守業務委託料でございますが、ニセコ町の文書管理システムの公開をするための保守料ということで委託しているものでございます。

それから、例規システムの管理委託料でございますが、町内の条例、規則等の例規システムの保守管理というところを委託しているものでございます。ただ、ことしこれまでになかった政策法務支援システムというので、新しく法令等の改廃等でその内容等を審査してもらうシステムを導入を

予定しておりまして、その分が昨年と比べるとプラスになっております。

続きまして、北海道電子自治体共同システム運用保守業務委託料でございますが、我々が業務で使用しておりますLGWANという回線の上でもウィンドウズアップデートを安価にできるためにこちらに加入しておりまして、その保守業務の委託料でございます。

以上でございます。

○委員長（篠原正男君） 1番、木下裕三君。

○1番（木下裕三君） まず、66ページ、下から3行目になります。ホームページ保守管理業務委託料に関して、これ公開が延びたというふうに聞いたと思うのですが、この伸びた理由を伺いたいことがまず1点。

次が69ページ、一番上、ニセコ町応援企業交流連携支援業務委託料50万円です。これ3年目の最終年というふうに聞きましたけれども、ことしどういったことを実施するのかということ伺いたいこと。

それと、次が71ページ、上から7行目、地域おこし協力隊の報酬に関してです、先ほどもちょっとありましたけれども。人数もふえているということですが、こちらのほう成果が上がっているのかということをお伺いしたいということをお伺いしたいということですが、こちらのほう成果が上がっているのかということをお伺いしたいということですが、こちらのほう成果が上がっているのかということをお伺いしたいということですが、こちらのほう成果が上がっているのかということをお伺いしたいこと

続きまして、85ページ、上から6行目です。第2庁舎執務室移転業務委託料、これ旧公民館だと思っておりますけれども、学校教育課のほうがどちらに移転するのかということをお伺いしたい。

一番最後なのですが、86ページ、次のページです。上から2行目のビジネスツール共通デザイン制作業務委託料、これも一度詳しくご説明をいただきたいというふうに思います。

以上、6点です。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） 済みません。また確認をしながら教えていただきたいのですが、まずは66ページのホームページ、よろしいですね。これが公開が延びたという……

（「というふうに認識していたんですけど、もし違えば」の声あり）

特段公開延びたというつもりはありませんで、今月末に一応公開をするという予定で今庁舎内では説明会を開きという状態になっているということでございます。

それから、その後が69ページが一番上、ニセコ町応援企業交流連携支援事業ということで、絹丘の110町の土地の絡みで、アサツデー・ケイさんということで、30年度についてもお呼びして情報交換をしつつ、いろいろ将来に向けての話し合いを続けたいというふうには思っているところでございます。当初のアサツデー・ケイさんのほかにアニメの制作会社のゴンゾ（GONZO）という会社があるらしく、その筋では有名なようなのですが、私そういうのは済みません、ちょっとあれなのですけれども。その会社にも今含めてアサツデーから始まって広がりを持っているものから、30年度についてはアサツデーさんまたはゴンゾ（GONZO）という会社も含めてお呼びするということになるかもしれないという予定をしているところでございます。

それから、71ページ、地域おこし協力隊の成果が上がっているかということでございますが、今年度、3月で終わる方についてはもう既に会社を起こしていらっしゃる方もいらっしゃるかと

とか、それらの予定で進めている方もいらっしゃるということなので、基本的には卒業される方については期待申し上げるところでございまして、それぞれの皆さんはそれぞれの場所で相当な努力をしていただいて、自分の道を切り開くのもなかなか大変なことではございますが、それらのことに努力されているということでございますので、成果は上がっているものと我々は考えております。

それから、これだけでしたっけ。済みません。私のところはここまでかな。

○委員長（篠原正男君） 阿部総務課長。

○総務課長（阿部信幸君） ちょっとページ飛んで恐縮ですが、86ページのビジネスツールの部分の委託料の件で私のほうからご説明したいと思います。

こちらにつきましては、我々行政で使っている庁舎内の名刺、それから封筒、ファクス、プレスリリース、パワーポイント、行政通知文書などのビジネスツールのデザインを統一してはどうかということで予算化するものでございまして、若手職員からの要望等も聞いてそういうものを考えていこうということで、デザインの委託をお願いするに当たっての経費ということでございます。

○委員長（篠原正男君） 黒瀧参事。

○総務課参事（黒瀧敏雄君） 私のほうの質問は、85ページの委託料の第2庁舎の執務室移転業務の関係なのですが、現在予定としておりますところは総合体育館の2階、向かって正面の左側のところを今移転先というふうに考えております。この金額の詳細も説明したほうがいいですか。大丈夫ですか。場所だけでいいですか。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 1番、木下君。

○1番（木下裕三君） まず、1つがホームページの件なのですけれども、済みません。ちょっと僕の勘違いで申しわけありません。費用に関して、昨年度460万円で保守50万円程度、それでことさらに130万円程度かけるということなのですけれども、ちょっとこれは費用がかかり過ぎなのではないかなと。ことし4カ国に対応するというふうにあったのですけれども、ホームページ作成に関しての総額というか、ちょっとかかり過ぎなのではないかなという点をお伺いしたいのがまず1点。

それとあと、P69のニセコ町応援企業の件です。これADKさんと、アサツーディ・ケイとの情報交換とあるのですけれども、何か言い方はちょっと変ですけれども、土地をいただいたので、報奨旅行みたいな、そういうふうに感じてしまう部分もあるのですけれども、実際に成果が上がるというか、その部分が何か見えづらいなと思っているので、そこのところをもうちょっとご説明いただきたいことがもう一つ。

それとあと、71ページの地域おこし協力隊の件です。年々微増で人数ふえていっているのですけれども、心配するのはもちろん協力隊員のこともそうなのですが、管理する側の負担というものもちょっと僕のほうも心配。13名という隊員、要は目が届かないで結局彼らに非常に不利益になっていってしまったら、それはもう本末転倒なのではないかなというふうに思ってしまうので、その件についてどう思うかということがもう一つです。

それとあと、85ページの第2庁舎の執務室の件です。今体育館の2階ということをお伺いしたの

ですが、ほかのところで検討はされたことはなかったのか、例えば運動公園のところにも施設的なものはあるし、その他行政施設のところであいているところではなかったのか、そういったところを検討しなかったのかなということをお伺いしたいということがもう一つ。

それと、最後、86ページのビジネスツールに関して、これ僕が平成27年にたしか一般質問で名刺のデザイン統一したほうがいいのではないかとということをお願いして、そのときは何もなかったのですが、今回は職員の方の提案でそういうものを進めるということ、これは質疑ではなく非常にいいことなので、ぜひ進めていただきたいなということです。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） まず、66ページのホームページの関係の費用がかかり過ぎではというところ。さまざま調査しまして、これは一概に言い切れるかどうかということはあるかもしれませんが、調べる範囲の中ではいわゆるホームページの保守管理という意味では、行政部分ではこれぐらいの金額が妥当なところというところでした。これまでがちょっと逆に言うと安過ぎたというふうに考えているところでございます。なのですが、やはり去年から見ると80万円強伸びるものですから、ここについて現在広告料を徴収するという方向で検討を進めておりまして、なるべく早い段階で民間広告を入れて、この分少し補えるようにしたいと考えているところでございます。

それから、69ページの応援企業さんの関係については、1年目終わって2年目、実はことしについては実施を検討していたのですが、先方さんの合併の話等々がありまして、なかなかうちに来る機会というのが難しいということもあって、新年度は早々に4月とか5月とかいう形で来ていただくと考えています。その際には、何とか向こうさんとも前回もお話ししているのですが、ある程度向こうがまたニセコならではに我々が貢献できることみたいところをまとめてお見せくださるということなので、それらのものも少し期待しながら今回はお迎えしたいなと思っているところでございます。

それから、71ページの協力隊と。管理側という部分で申し上げますと、確かに管理と言えはちょっと語弊ありますが、とてもかかります。十人十色といいますか、皆さん三人三様でいろんな方いらっしゃるの、なのですが我々の結論としてもそれぞれの方にそれぞれの対応をしていくということがやはり求められるなど、実態の中でそう感じておりますので、これは今後も丁寧に対応することによって皆さんの将来についても不利益になるようなことはないように努めてまいりたいと考えております。

ちなみに、地域おこし協力隊の方々の現状での配置先でございますが、綺羅乃湯さんに1名、それから観光協会に2年目の方が1名と3年目が1名、それから新人1名と3名の予定と。それから、ビュープラザについては3年目の方が1名の新人2名の予定であります。それから、農政課に改めてまた1名と、それからこども館に3年目の方が1名と新人の方についてはまだちょっと決定はしていませんけれども、予算としては見ているという状態、それから企画環境課に1名、それから建設課の特に空き家対策という部分で1名と、それから町民学習課に1名というような予定で現状考えているところでございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 黒瀧参事。

○総務課参事（黒瀧敏雄君） そのほかの場所の関係だったのですけれども、当初は運動公園の2階という話も確かに出ていました。その後総合体育館の1階の会議室という話もあったり、またニセコ高校の空き教室もあるみたいな話もあったり、あとは現庁舎の議員控室はどうだみたいな話も実際ありました。いろいろもろもろ検討したのですけれども、そのほかにプレハブで新たに事務所を建てるということも検討したのですが、金額が結構かかるということで、できれば無駄なお金って表現悪いのですけれども、全部込みで1,400万円ぐらいかかるというものでしたから、最終的には今ある現状のものを使って、何とかそこに移ってもらったほうがいいのではないかとということで、平成25年に一度機能向上の改善工事を総合体育館でやった経緯が実はありまして、そのときも2階に移ってそこで過ごしていただいたと。執務環境を行っていただいたという経緯があるので、今回も同じように提案をさせていただいている次第です。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 林副町長。

○副町長（林 知己君） 木下委員からご説明ありました地域おこし協力隊の部分について少し説明をさせていただきます。

実は、活動の状況ですとか、どういう仕事をして、どういう評価をしているかという部分については、それぞれ毎年評価委員会を開催しております。評価委員は私も入っておりますが、担当しております企画環境課、そしてそれぞれの地域おこし協力隊が所属している所属長にも参加をしております。その中で1年ごとですので、継続すべきかどうかも含めて、それぞれ協力隊の自己評価と所属長のコメントをいただいた中で、皆さんでその辺を全体を情報をきちっと把握する中でこの協力隊がこういう活動をして、こういう課題を持っていて、今後こういうことに進むということを確認をさせていただいております。評価会の中では全て継続すべきであるということで、それぞれの評価の段階は変わりますけれども、そのような対応をさせていただいているところでございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（篠原正男君） この際、暫時休憩いたします。

休憩 午後 3時25分

再開 午後 3時28分

○委員長（篠原正男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑はありませんか。

8番、新井委員。

○8番（新井正治君） それでは、64ページの15節、LED街路灯設置工事の2基設置のメンテナンスと聞いているのですけれども、場所を教えてください。

あとは、71ページの上から2番目、ハロウィンカボチャによる中央地区活性化支援事業補助の補

助内容を教えてください。

あとは、73ページ、上から4番目、委託料の中央倉庫群運営委託料の内訳を教えてくださいたいのと、あとその下の18節備品購入費、一般備品でタブレット等というふうに説明受けたと思うのですけれども、これの詳細を教えてください。

あと、84ページ、一番上の地域防災力強化セミナー開催業務委託料、これの内容を教えてください。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） まずは、71ページのハロウィンカボチャについてですが、この中身としては特にコンテスト、表彰式、ランタンづくり等で10万円、それからカボチャ栽培の委託の謝礼で10万円、カボチャ運搬で2万円、牧草ロール使用で2万円、広告チラシで1万6,000円と合わせて25万6,000円の事業費に対して町から10万円の補助が出ているという中身でございます。これについては、中央地区でやっている、これが企画の部分ということでございます。その内容でございます。

それから、73ページの委託料、中央倉庫の委託料の部分でございますが、主な内訳につきましては主に運営管理費、運営費と管理費ということに分かれておまして、例えば事務費が全体で20万7,000円、イベント費用が120万円、一般管理費として480万円、施設管理費として330万円、合わせて全体で1,148万2,000円の事業を実施して、貸し館料で大体100万円を見ていて、カフェ収入で65万円、会費で27万円、物販で31万円、イベント収入で88万円等々ということで320万円の収入を見ているというような内訳になっております。済みません。ちょっと細かくまた分かれていますので、もし再度質問があればと思います。

それから、その下でしたっけ。備品でしたね。73ページの18節の備品購入、これについては118万7,000円のうち今ご指摘のあった部分についてはタブレットというお話でございました。これについては、118万7,000円のうち104万9,000円の予定をしております。この中身については、いわゆる2年間続けてまいりましたローカルスマート交通構築事業の絡みで調査をしておりましたが、今年度につきましては福井、それから西富方面をモデルといいますか、試験の地域としてボランティアのライドシェア、乗り合わせの事業を実施するというので、運転をしてくださる方にお配りするタブレットというような意味合いでここに計上しているものでございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 横山町民生活課長。

○町民生活課長（横山俊幸君） 私からは、LEDの工事の関係で64ページです。これについては、新規で考えているのが駅前からLEE不動産に向かうところが真っ暗でして、そこに電柱に共架する形で整備したいということと本通5町内に電柱架設ではなくて本来の街路灯用の支柱がありまして、それが腐食して倒れそうな部分がありますので、その撤去と新規に設置するというようなことで工事を考えているところです。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 黒瀧参事。

○総務課参事（黒瀧敏雄君） 新井委員のご質問にお答えします。

84ページの30万円の内容なのですけれども、これは北海道市町村振興協会の100%補助をもらった内容になってございます。実際にどういふことをやるかということなのですが、災害時における対応ということで、わかりやすく一般の住民に講師として来ていただいて、専門的な部分をいろいろと説明してもらいたいな、そういうセミナーをやりたいというふうに考えています。また、グループ単位でいろいろ分かれまして、図上訓練ということで、ゲーム感覚で親しんでもらうような防災感覚ゲームをやっただいて、防災の知識とか、そういうのを啓発するようなことを一応考えてございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 8番、新井君。

○8番（新井正治君） ありがとうございます。

ちょっと再質問になるのですけれども、73ページの委託料で中央倉庫群の運営で詳細を今教えてもらったのですけれども、29年度の予算で552万8,000円、これ36万円としふえているかと思うのですが、年々減っていくような試算を前に示されたかと思うのですけれども、この辺のことを詳しくお聞かせいただければというのと、あとローカルスマート交通でドライバーさんにタブレットをということなのですが、これ何台ぐらい予定しているのか教えてください。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） まずは、中央倉庫です。中央倉庫、確かに減っていくという形で実施するのが一番理想的ではありますが、運用していく中でやはり周りの館の管理費用等々がかさむということも含めて、今現状でこの金額になっているということでございます。

それから、ローカルスマート交通の部分については、今状況としては管理者用で2台、運転手さん用で12台と合わせて14台というような予定でございます。

○委員長（篠原正男君） 2番、浜本君。

○2番（浜本和彦君） 余りいっぱい質問すると私もわからなくなるので、とりあえず小出しに、66ページ、13節、下のほうです。コミュニティFM公共情報番組制作放送業務委託料と。1,200万円ほどありますけれども、この内容と、それから例年これはずっと続いていくのか含めて、内容を説明あったかと思うのですけれども、再度細かく説明いただければと思います。

それと、70ページ、19節、上から4段目、北海道国際流通機構負担金5万円とありますけれども、これ新しいものというふうに聞いていたのですけれども、この内容をもう一度確認したいのですけれども、説明よろしくをお願いします。

○委員長（篠原正男君） 山本企画環境課長。

○企画環境課長（山本契太君） まずは、66ページのコミュニティFMの委託料ということですが、当初は補助金のみで支援をしていたという形なのですが、これを委託料に分けて、委託実施して、ある一定の基準を超えた委託のこま数を……ごめんなさい。委託をすることによって、この委託費用の一部が交付税の対象になるということになったものですから、もともとは補助金だ

けだったものを2つに分けて、変な話、委託のほうをふやせばそれだけ町に入ってくるお金も、財源もふえるものですから、ということで日常の役所からの放送業務の部分なるべく委託料の中に入れ込んで積算をしているのが1,296万円という、この中身になっております。積算の部分につきましては、例えば1こま12分で生放送を何回やってくださいとか、緊急の場合は何回やってくださいとかという、一応積算内容をつくりまして、それで委託をかけているという状況になっています。ですので、もう一方で補助金も残っていますということでございます。

それから、70ページの北海道国際流通機構負担金ということなのですが、これについては基本的に地域の海外輸出について支援をする団体ということで、ことしが実は最初ではなくて、29年度は補正で上げさせていただいた中身でございます。なので、2年度目ということになるかと思いますが、今までの団体とちょっと違いますのは、ちなみにですけれども、企業会員さんが93社、それから自治体会員が12団体入っている公的な色合いの強い団体でございますが、なぜこれができたかといいますと小口の輸出というのがやはりスタートするときに障壁になると。大口だと。大口しか今まではなかったのですけれども、それをなるべく小口でも、例えば農家さん一軒でもやり始められますよというようなことでスタートさせている団体ございまして、その情報を聴取することも含めて今この団体に負担金を払っているという状況になっております。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 5番、竹内正貴君。

○5番（竹内正貴君） まず、1点目、今ちょっと同僚の浜本さんから説明求められたFMの関係です。今小口ということで、一定回数を放送すると交付金対象にもなるということだったのですが、FMに関して合計の数字を足していくとかなりの金額にことしは増額になる。それに当然この後のほうで出てくる観光協会のほうの絡みを含めると数字が大きくなるのでないかと思うのですけれども、その辺をちょっと説明してもらえればというのが1点。

次、70ページのバス路線維持費補助の321万3,000円、昨年より11万6,000円ふえているということでの増加分、たしかここ福井路線というのですか、蘭越に向けてのバスの維持のための補助だったかなと思うのですけれども、費用対効果も含めてちょっとお話ししてもらえればと思います。

それか、その下のまちづくりサポート事業補助ということで、これは新規だったか、去年もあったかと思うのですけれども、今私新たな事業かなという感じがしているので、ここの説明をもう一度お願いしたい。

それと、その下、71ページのデマンドバス運行事業補助ということで2,280万円、昨年度より177万円ほど増加、これが28年度にはバス1台更新したりして金額が増加した経緯もあります。その後昨年は、またそこで金額ふえた状態で補助として出ております。そして、その上にまたことし177万円金額がふえたということは、人件費ということなのかどうかと思いますけれども、それでは済まないかなと思いますので、ここをもう少し詳しく説明を願います。

それから、その下、集落支援員、それから地域おこし協力隊報酬ということで、集落支援、去年はたしか7名だったと思うのですが、ことし6名ということで、予算を立てたときにはことし金額がふえているなというのと協力隊は3名減って、卒業ということだったと思うのですけれども、そ

こら辺のその後のサポートはどう考えているかという面のお話をお聞きしたい。

それから、当然そこにつながってくる72ページの地域おこし協力隊の活動費補助、それから集落支援員の補助ということで、両方とも金額93万8,000円プラス、49万9,000円プラスということでとしはふえています。この辺の内容。そして、地域おこし協力隊は活動報告ということが年に1回行われているのですが、集落支援員の活動についての報告が一切ない。この辺をどう考えているか、お話をお伺いしたい。

それと、84ページ、金額的には少ないといえ少いのかもしれないのですが、これもしかして説明があったのかもしれないのですが、防災の関係です。工事請負費の車庫設置工事、防災車のための車庫というふうなお話のようですが、今建物壊して新たに向かおうとするときにこういう車庫がどこに設置してやろうとしているのかちょっとわからないので、その辺の説明。それと同時に、一般備品としてことしも去年同様、去年より1万5,000円ほど減っていますが、59万円の一般備品購入ということで、この辺の内容を教えてくださいなと思いますので、よろしくお願ひします。

○委員長（篠原正男君） 山本企画環境課長。

○企画環境課長（山本契太君） まず、66ページの13のコミュニティFMの絡みです。増額の説明ということですが、コミュニティFMの部分につきましてはほぼいわゆる人件費ということになるのですが、これまで会社の規定によりますと独身とか世帯があるとかいうところでももちろん給与は違うわけですが、現状で社員がやめられることも含めて次の方をとるときに世帯ということも考慮して、その中で一番高くなる可能性があるところの人件費を見ておりますということで、その部分は少し昨年よりは高くなっているということでございます。

それから、バス路線、70ページのバス路線の維持費補助、これはご指摘のと通りの福井線でございます。確かに多くの方が乗っている路線ではないのですが、生活路線としても蘭越町さんともご相談する中でなかなかやっばりやめるにやめられない状況もあると。乗っている方をどうするのかということもありますので、そのような状況の中で乗り合い率が高い路線ではもちろんございませぬので、そのことも含めて国の支援等々もここについては少なくなってきたということも含めて11万6,000円分高くなったということでございます。

それから、70ページのまちづくりサポート事業については、去年は補正の形でなのですが、もともと実施している事業でございまして、20万円見させていただいたと。例えば今子育て世代のお母さんたちでいろんな取り組みを自らされるだとか、そういうようなすばらしいまちづくりに資するような事業について当て込んでいくというようなことも含めて、ことしはそういうことでしたけれども、例年そのような必要な事業には充てていると。ことしについては、済みません。補正ではなくて当初から上げさせていただいているということでございます。

それから、71ページのデマンドバス運行事業補助についてのこれも端的に申し上げますと人件費なのですが、最初のところでも説明させていただいたのですけれども、副町長の説明の中でも説明させていただいたのですが、今般担当されている方がやめられて、その次の方を採るときに人手不足の中でどうしても人が集まらないということで、正社員化をするということになりまして、これはやむを得ずといひますか、そういう形で実施していただきまして、それらも含めるとちょっと人

件費が上がるということも含めてこのような現状になっているということでございます。

それから、71ページ、同じく支援員と協力隊、協力隊の後フォローをどう考えるかということでございますが、ことしについても後でその次の72ページの19節の地域おこし協力隊の活動費補助の中にも出てきますが、最終年については自立のためのサポートとしての100万円の補助というのがあります、これらも500万円の中で見ているということも含めてこの金額なのですけれども、そういうような活用も相談に乗りながら支援をしていくという形で実施をしていこうということでございます。

それからあと……それで全部でしたか。

(「集落支援員」の声あり)

集落支援員。失礼しました。集落支援の活動報告会については、30年度の中で実施させていただくというつもりでおります。

以上です。

○委員長(篠原正男君) 黒瀧参事。

○総務課参事(黒瀧敏雄君) 私のほうから2点ほど説明したいと思います。

84ページのまず工事請負費の車庫の設置の関係なのですが、これも昨年購入した防災車の車庫の部分、一応新築する場所で見えていたのですが、そこはちょっと無理だということの判断で、ここにはやりませんが、それ以外の土地ということで、今町有地のほかに持っている、例えば総合体育館の敷地とかのところを含めて検討している予定でございます。あくまで予定ということでございますけれども、その部分です。

それとあと、一般備品の部分なのですが、これも昨年実はジェットヒーターの部分、2台分見ていたのですが、それがいろいろお金の関係で見送りしていた分ありまして、それを今回2台分計上しています。どこに設置するかということなのですが、特にコミュニティセンターなどの避難場所になっている部分がありますので、そこに順次これから2台ずつでも配置していきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

◎会議時間の延長

○委員長(篠原正男君) 本日の会議は、議事の都合によりあらかじめこれを延長します。

◎議案第15号(続行)

○委員長(篠原正男君) 5番、竹内委員。

○5番(竹内正貴君) 聞いているうちにちょっとわからなくなってきたところがあるのですけれども、FMの関係で人がかわったりして金額がふえているのだよということがありますが、67ページのほうでの今度は運営費補助もふえていますよね。何段目になるのだろう。19節の日本ハムファイターズの上になるのか、それで35万円ほどふえていますよね。このふえ方も結構大きいのかなと思っているので、この辺を含めてもう一回聞きたいと思います。

それから、バス路線の関係、福井線の絡みなのですが、当然向こうのほうからのあれでデマンドの要請かけてもなかなかバスが来ないと。ドア・ツー・ドアということですずっと動いているのですが、手配できないということで、例えば予算的なものとか何かがあればこれをうまく利用できる、こちら辺をうまく活用して、この辺の金額を活用してということも考えられないのかどうなのかというところで1つ。

それから、人数確認にもなるかと思うのですが、集落支援員は去年が7でことし6でいいのか、それから地域協力隊員は去年15でことし12名でいいのか。もしそれでいいよということになりますと、72ページのところでの今度は集落支援員が減っているにもかかわらず、金額がふえている。この対応はなぜという、活動費がふえるということは何か活発に活動するということなのだろうと思うのですが、その辺を教えてください。

それから、84ページの今の防災の車、車庫については理解しました。ただ、一般備品のところにつきましては、昨年の当初の29年度の説明ではたしか小型発電機を防災で用意して消防に貸与しますという話での予算のとり方だったと思います。それがいつの間にかジェットヒーターに変わって用意しなかったということなのですが、それはどうしてということで、この点をお願いします。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） 67ページの運営費補助の部分でございます。失礼しました。そうでした。人件費の部分もちろんあるのですけれども、それから現状がなれた社員が2名ということで、ことしの4月から新しい職員が2名入ります。の予定で4名になるわけですが、やはりラジオについては少し特殊性があって、入ったからすぐにできるというものではないものですから、その辺の研修費を、時間と人がいれば会社の中で十分やれる、もちろんスキルを持った社員がいるわけですが、そここのところの余裕がないものですから、それは札幌のもとと立ち上げのときに協力いただいたラジオの会社さんにご支援いただいて、そちらに送って研修受けるなり来ていただいて受けるなりというような、いわゆるアナウンス研修全般的なことの部分もここに盛り込ませていただいているということで、それがなければなかなか回せない。自分たちでやるという分にしてはちょっと人が少な過ぎるというようなことで、このような形になっております。

それから、70ページのバス路線のことについては確かにそのとおりで、このバスを要するに放っておかないで活用できないのかという話だと思うので、それについては重々検討させていただきたいと思います。確かに向こうからニセコ駅までということも含めて来る形になるものですから、告知も含めていかように活用できるか、再度検討してみたいと思います。

それから、集落支援員はことしは6名です。それで、補助金が一応家賃、それから車両、通信補助等々で512万4,000円という……ごめんなさい。これは512万4,000円の予算化をしているということでございます。済みません。ちょっと。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 黒瀧参事。

○総務課参事（黒瀧敏雄君） 済みません。私の説明がちょっと悪かったようで、申しわけないです。28年度の予算で見えていたということで、ジェットヒーターの部分です。それを私の説明が悪か

ったのですが、その28年度で予算見ていたやつがちょっとできなかったもので、今回見ていると。

それと、消防の部分については、29年度で1台入れてございます。

以上でございます。

○委員長（篠原正男君） 山本課長、もう一度説明をお願いします。

○企画環境課長（山本契太君） 失礼しました。大変申しわけありません。担当課長とは思われない発言で申しわけございませんが、8名でふえているのです。ということでございまして、予算的にはそのような形になっておりますということでございます。

○委員長（篠原正男君） 質問では、それぞれの人数を竹内委員がおっしゃって、それに対する回答をされて、なおかつ予算の増の理由について答弁いただきたいということです。

○企画環境課長（山本契太君） 大変失礼いたしました。集落支援員につきましては、予算は農政課に2名継続、それから中央地区、中央の倉庫に3名ということ、それから有島記念館に1名と、それから町民生活課に1名ということで、現在予定をしているということでございます。それから、無報酬で……済みません。今の方にプラス無報酬で農政課に1人配属になっていて、それで8名ということでございます。大変失礼いたしました。

○委員長（篠原正男君） 竹内委員。

○5番（竹内正貴君） 今の件で、当然そうすると、まずそうしたら基本的にもう一回確認になるのですけれども、集落支援員は去年は7だったけれども、ことしは8だよということでよろしいのですね。それから、地域おこし協力隊員は去年15名でことしは12名ということでよろしいということですね。

そして、その上でのお話になりますが、またその中で支援員が1名は無報酬と。水環境か、あっちのほうで仕事されているということなのだろうと思うので、そちらから出るからここでは含まれないということになろうかと思いますが、そうすると集落支援員は去年7名、ことし7名で、報酬が176万円上がったと。それから、地域おこし協力隊については報酬が減ったので、416万円下がったということで、数字としてこの辺1人当たり150万円の計算にはならないのかなと思って見ているのですが、72ページの先ほどの活動費がどうもそれなら1人当たりの勘定というか、1人当たり計算の活動費補助が随分上がっているように見えるのですけれども、その辺をもう一回説明をお願いします。

○委員長（篠原正男君） 山本課長、的確をお願いします。

○企画環境課長（山本契太君） 済みません。混乱してしまって、ちょっとわかり……現状では8名の予定をさせてもらってございまして、それで……ちょっと済みません。これちょっとお時間いただいてもよろしいですか。きっちりご説明できるように何かしますので、申しわけございません。

（何事か声あり）

わかりました。申しわけございません。

○委員長（篠原正男君） 4番、斉藤委員。

○4番（斉藤うめ子君） ページは62ページと63ページにわたりますけれども、その中の62ページは自治振興会のところの一番下のところの8番の報償費なのですけれども、ここに、ちょっと教え

ていただきたい。功労者年金というのがあります。年金、それから63ページのほうに名誉町民遺族年金というのが項目があるのですけれども、これ詳細に年金いただいている方が何人いらっしゃるのか、どういう方がいただいているのか、ちょっとその辺のところを説明していただけたらと思うのですけれども、お願いします。

○委員長（篠原正男君） 阿部総務課長。

○総務課長（阿部信幸君） 62ページから自治振興費の報償費の関係でございますが、功労者年金につきましては町の功労者の方に送らせていただいて、年間決まった金額で、単価としましては8万円の16人分でございます。それから、功労者遺族年金、名誉町民の遺族年金につきましては該当者は今お一人ずついらっしゃいまして、年額この年金額ということでございます。

以上でございます。

○委員長（篠原正男君） 斉藤委員。

○4番（斉藤うめ子君） そうしますと、遺族の方というのは遺族ですから、遺族の方がずっと継続して終生いただいていくわけですね。済みません。もう一回確認で、名誉町民という方はお二人で、それから功労者年金のほうは現在16人いらっしゃるわけですね。年間8万円で16人。今の説明でしたら、よろしいのですか。

○委員長（篠原正男君） 斉藤委員、質問は終わりましたか。

○4番（斉藤うめ子君） はい。質問を終えて、今答えを……。

○委員長（篠原正男君） 阿部総務課長。

○総務課長（阿部信幸君） 再度内訳申し上げます。

功労者の功労者年金というのが特別功労者に対して……済みません。私ちょっと勘違いしまして、掛けるというのを1に読んでしましまして、済みません。8万円の6人でございます。特別功労者として6名の方に年金を支給しているということでございます。それと、遺族年金につきましては先ほど申し上げましたとおり特別功労者の遺族年金がお一人で、これが62ページの一番下段のところでございます。名誉町民の遺族の方に対して63ページの一番上でございますが、年金を支給しているということでございます。済みません。訂正させていただきます。

○委員長（篠原正男君） 斉藤委員。

○4番（斉藤うめ子君） 済みません。ちょっと今の説明よくわからなかったのですけれども、ごめんなさい。もう一度、まず功労者年金というのをいただいている方が8万円が6人。

（「6人、はい」の声あり）

それで、功労者遺族年金というのが4万円というのは……

（「お一人です」の声あり）

お一人で、そしてその下に名誉町民遺族年金というのが……

（「お一人です」の声あり）

お一人。わかりました。済みません。功労者というのは、これまで町に功労したという方を、ここにありますがけれども、功労者表彰審議会というのがあるのですけれども、これで選ばれた方々がずっとやっているということで。わかりました。結構です。

○委員長（篠原正男君） 青羽委員。

○3番（青羽雄士君） 大したことありません。71ページのまず綺羅街道植栽事業補助で、今年度は57万円、一応昨年度よりは14万円ふえているということですが、これはどういう理由でふえたのか、大変喜ばしいことなのですから、例えば花の苗代が高くなったからこうだったのだとか、植栽ますぐらなくなったからこうなったのだとか、それとも何か物を買おうとしているので、こういうことなのだとか、その辺の説明がいただきたい。

それと、72ページの自治創生分で、ライドシェアの運用を実証実験したいのだというようなご説明があったかと思えます。それで、それこそ一千四、五百万円の予算を立てておりますよね。その中には、それこそ西富地区で実証実験して運転手を12名ぐらい募集して云々だとか、いろいろと多少の詳細は出ているのですけれども、これ例えばボランティアドライバーというのですか、これの年齢制限なり、車の車種というのですか、年式だとか、そんなのだとか、どこまで今協議されて、そしていつごろ人間を募集して、何月ぐらいに実証実験をどのぐらいやろうと思っているのか、その辺の説明がいただいたのかもわかりませんが、私は見過ごしたので、ちょっとお願いいたします。

それと、もう一点、73ページの15工事請負費の中央倉庫群の改修工事、これ駐車場をやるのだというご説明をいただいたと思えます。200万円ぐらいで駐車場、倉庫群のどの場所になるのかちょっとはつきりわかりませんので、その場所で車何台ぐらいとまれるようなスペースのことを想定しているのかお願いいたします。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） 71ページの……

○委員長（篠原正男君） 説明を中断してください。

この際、暫時休憩いたします。

休憩 午後 4時10分

再開 午後 4時20分

○委員長（篠原正男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明を続けてください。

山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） まずは、71ページの綺羅街道の植栽の金額ふえた関係ですが、北海道の補助金3年間という予定だったものがもう29年度で終わりということなものですから、その分も含めてということで、ニセコ町からの補助金がふえているという状況になっております。

それから、73ページのライドシェアの関係ですが、この議会で予算が通った状況になりましたら、協議会の設置、それから募集関係を早速始めてまいりたいと考えておまして、30年、ことしの8月には試験運行の、特に福井、それから西富方面の方々を対象とした試験運行ということで、まずその形を始めてまいりたいと考えております。それから、ドライバーの方については、正

式な声かけはまだできないのですけれども、例えばこういうことがあった場合どうでしょうかというようなことのお話は少しさせてはいただいているところがございますが、年齢制限はルールはございませんが、そこについては一般的には65歳ぐらいまでかと思っておりますということがございます。それは、募集の状況を見ながらまた確定をさせていかなければならないところだとも思っております。ニセコ町がやっている中身については、既に実は中頓別町で先駆けてやっていたところでありまして、ニセコ町も最初は有償運送という形で考えておりましたが、道路運送法にのらないボランティアの形でまず実施するというところに現在は切りかえて考えているというところがございます。

それから、73ページの15節の工事請負費の中央倉庫の砂利の駐車場でございますが、あれはニセコバスさんと、それからこちら側の新しくできましたスキー工房さんの間の土地と……済みません。失礼しました。ニセコバスではなくて1号倉庫の活用している広い倉庫と、それから新しく今入ったスキー工房さんの間、あの土地を整理をして駐車場とするという形で考えております。資料でいきますと、補足資料の4ページにその場所が載っているという形でございます。何回も済みません。ニセコバスと1号倉庫の間です。ごめんなさい。ニセコバスと1号倉庫の間について実施をするという予定で、台数的にはあの広さで今10台ちょっとぐらいというようなイメージでございます。

○委員長（篠原正男君） 3番、青羽委員。

○3番（青羽雄士君） 今の駐車場の件からまずいきますけれども、この地図で見てわかるかといってもちょっとわからない。1号倉庫とニセコバスの会社のところに何があったか、もう今ちょっと私思いつかないのですけれども、一応十何台ぐらいのスペースがある砂利道のところだということですね。それを舗装をかけて、そして白線を引くような状況でこの金額だということでしょうか。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） 舗装かけずに砂利の転圧でというようなことで考えて、この値段ということでございます。

○委員長（篠原正男君） 3番。

○3番（青羽雄士君） これで3回目になるのだろーと思っておりますけれども、ライドシェアの件、実証実験で云々だというのはわかるのですけれども、一番最初に期間なんか私聞いたつもりでいるのです。大体何か月間を予定しているものなのか、その実証実験。どのぐらいの想定してやろうと思っているのか、それからあとこの資料によりますと予約専用電話を利用して云々するようなことも出ています。だから、役場が受け付け場所になるのか、それとも全く違うところを想定しているものなのか、その辺もご説明願います。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） まず、初年度につきましては、ライドシェアについては8月ぐらいから何とか始めて年度末までということが試験の運行期間という考え方をしています。その間に実証の内容を精査し、その次の年の準備をするという考え方をさせてもらっているところがございます。それから、予約については、中頓別が現状では電話予約を役所でやっております、例えば役所になるか、またちょっと別の団体にお問い合わせするかというところはちょっと今検討中ございま

す。

それから、先ほどの済みません。ちょっと聞かれていないことで申しわけないのですが、工事の場所なのですから、もともと日野浦さんの車庫というか、倉庫が建っていた場所で、コンクリも含めて相当がたがたな状態なものですから、それらのところもきちっと整理した上で転圧で駐車場とすると、そういう状況でございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 6番、三谷委員。

○6番（三谷典久君） 59ページ、10節、町長交際費280万円、昨年260万円ですので、20万円上がった根拠を教えてください。

それから、62ページ、19節になります。19節の中ごろ、地方公共団体情報システム機構負担金4万5,000円の説明をお願いします。

次が67ページの先ほどからコミュニティFMがいろいろ問題になって、結構かかっていますよね。私がお聞きしたいのは、今回の行政報告で防災ラジオの配付状況が一般で72.3%です。FMに関して予算が年々大きくなっている、そういう中で配付状況というのは余り変わってこない。その辺をどのように認識しているのかというのが1つと、それから町長の執行方針の中にFMに関して職員の4名体制、労働環境の改善、新入社員への研修の充実を図るということが書かれています。新入社員の研修の充実に関しては、札幌の局のほうにお願いするのだということが先ほど出てきました。私がお聞きしたいのは、このFMに関して労働環境の改善というのが書かれているのですが、中身はどういうことなのか。

それから次に、74ページの13節委託料、財務諸表作成、これ地方公会計による、ここ数年で恐らく委託して書類をつくっているのだと思うのですが、もうそれぞれの去年あたりはできていると思うのですが、これはどのような形で公表されているのか。

それから、次が87ページの委託料、一番下の町税納付書等印刷及び封入業務委託料、これに関して委託する場合の仕様書、当然出てくると思うのですが、どのような点に注意して仕様書を作成するのか。

以上です。お願いします。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） 67ページのFMラジオニセコの関係です。防災ラジオの貸し出しという部分についてはおっしゃるとおりでございますが、転入してくるたび等々にきっちりお配りしている状況ではございますが、なお一層これについては配付をいたしますということを含めて加入の増加に向けては頑張らなければならないというところだと考えます。

それから、同じくFMの関係の労働環境の改善という部分につきましては、なかなか固定の時間帯だけで済まない状況も出てきています。というのは、地域づくりのためのコミュニティFMであり、さまざまなパーソナリティも出ていただいたりなんなりするというような形の中で、どうしてもその方々が出るときに残ってミキサーの操作をしなければならないですとか、さまざまな状況も鑑みられるというところでもありますので、何とか早目に4名体制にするということと、それから

防災の面もだんだん最近多くなってきました。さまざま防災の対応もしなければならぬという状況の中で、ラジオニセコは本当によくやってくださっています。それで、例えばラジオのところへすぐ駆けつけられるようにというようなことも含めて、住宅の手当を少し改善するだとかいうようなところは今観光協会として検討していただいていると。それらのところも含めて労働環境の改善ということになるかと考えております。

○委員長（篠原正男君） 阿部総務課長。

○総務課長（阿部信幸君） それではまず、私から59ページの交際費の関係からご説明したいと思います。

ことし20万円ほど昨年と比べて要求額をふやさせていただいておりますけれども、過去のことでお話しさせていただくのですが、最高額500万円という時代もございまして、それから400万円、300万円というふうにだんだん減ってきておりまして、一度250万円ということがあったのですが、去年までは260万円だったということもございます。ことし20万円ふやしているわけでございますが、交際費につきましては主に町長の会議に参加する会費ですとか、それから慶弔関係、それから事業等の協賛、それから来客に対する接遇、それからお見舞い、それから弔慰とその他ということで、年間通して使わせていただいているものでございます。これまで外部に町長が出る機会もふえてきてございますし、また町にお客さんとして、来客としていらっしゃる方も多くなってきているということから、今回予算の増額を計上させていただいているものでございます。なお、執行に関しては、先ほど申しあげました基準に従いまして、執行させていただいているところでございます。

それから次に、62ページでございますが、地方公共団体情報システム機構負担金というところでございます。こちらにつきましては、4万5,000円なのですが、この地方公共団体情報システム機構というところでは、いわゆるジェイリスというところなのですが、さまざま地方支援アドバイザーの事業ですとか、月間の地方自治情報誌として「J—L I S」という月刊誌を発行していたり、主に私どもで考えているのは研修について安く研修を受けることができるということで加入しているものでございます。例えば一般企業の情報化の関連研修ですと1人6万円から8万円かかるころ、ジェイリスに加盟して、この研修だと1人2万円程度で受講できるというようなことで、その優位性があるのではないかとということで情報機構に負担金を払って加盟しているものでございます。

それから次、74ページの財務諸表の関係でございます。29年の委託を完了した段階でホームページ等に公表する予定でございます。また、29年、ことしにつきましてはまだ業務期間中ということで、これが整理でき次第ホームページで公開する等の考えを持っております。

以上でございます。

○委員長（篠原正男君） 芳賀税務課長。

○税務課長（芳賀善範君） 町税等納付書等印刷封入業務の委託料の関係での仕様書の作成ということだったかと思うのですが、個人情報とか、そういう形の仕様の話なのでしょうか。この予算につきましては、12月の予算で支出負担行為をいただいて、こちらのほう、入札のほうも既に終わっております。契約書類等ちょっと今手元にないので、あれなのですが、内容といたしましてはそれぞれの各税の納付書の打ち出しですとか、ブッキング、案内状の印刷、課税の明細、

封入料金等、そういう仕様に基づいて入札を行っているという状況になります。

○委員長（篠原正男君） 6番、三谷委員。

○6番（三谷典久君） まず、1つ、町長交際費なのですけれども、公費で行く出張以外の会議関係の旅費がここから出ているということで理解してよろしいのかどうか、それが1つ。

それから、次がジェイリス。ジェイリスってこれたしかマイナンバーの関係の組織でなかったかと思ったのですけれども、そのマイナンバー関係とは全く関係ないということなのでしょうか、この負担金は。それが1つ。

それから、コミュニティFMに関しては、防災ラジオに関して加入、移転者に対しての働きかけをしているということをお聞きしました。そうすると、今住んでいる方に対しての拡大はもうこれ以上無理だと。あとは、移住者にしかできないというふうなことで考えているのかどうか。

それから、財務諸表の委託料、作成です。決算のときにこれは出てくるのかなと思ったのですけれども、その辺はどうなのかということが1つ。

それから、次は町税納付書の委託料です。これ前の議会するときにも同僚議員が質問しているところで、やはり町の非常に個人情報性の高い書類であると。守秘義務ですとか、あるいは封入するとき間違いとかということも当然考えなければいけない。それらのことを当然仕様書として、委託するのですから、その辺をどういうふうにしていますかということでお聞きしたつもりなのですが、残念ながら答弁がなかったのですけれども、いかがでしょうか。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 阿部総務課長。

○総務課長（阿部信幸君） 私からまず、交際費の関係でございます。公務以外の旅費がここから出ているのかというご質問かと思えますけれども、交際費から旅費を支出していることはございません。あくまでも会議に行った会費ですとか、慶弔関係の支出等に先ほど申し上げた項目での支出ということで、こちらから旅費が出ているということはありません。

それから、ジェイリスの関係でございますが、こちらの負担金につきましてはマイナンバーとは関係のないということでございまして、情報セキュリティの関係の先ほど申し上げた研修会ですとか、そういうものが実施されているということでございます。

それと、財務諸表の関係ですが、決算審査で提出する予定でございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 山本課長。

○企画環境課長（山本契太君） ラジオニセコの配付の部分については、住んでいる人も含めて、それはやはりやり続けなければならないことだろうと思います。代わりもするというのも含めてありますので、その辺のところについてはラジオも含めてさまざまな形で今もやっていますけれども、こういう防災の機能があるのだということで告知をしてつけていただくというところは促進すると。そこは変わらず進めていきたいと存じます。

○委員長（篠原正男君） 芳賀税務課長。

○税務課長（芳賀善範君） 入札のほう終わりました、うちのシステム関係を全てとり行っている

会社のほうが入札を行っております。そちらのほうに作成から全てをやるという形になっております。契約条項におきましても個人情報の趣旨等明記されているところです。

○委員長（篠原正男君） 林副町長。

○副町長（林 知己君） 済みません。防災ラジオの配付状況です。ご指摘のとおり、余り配付状況伸びておりません。回答のとおり、新たに転入されている方については常時説明をし、配付をさせていただいておりますが、もともといる方含めてちょっとやり方を変えるというか、仕組みは変えないと伸びないかなと思いますので、その辺を少し検討してみたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員長（篠原正男君） 芳賀税務課長、仕様書にかかわって、もう少し詳しく具体的に説明を求めていると私は思いますので、その点再度お願いいたします。

○税務課長（芳賀善範君） 契約条項の書類を今持ってきていなかったものですから、詳しいご説明がちょっとできないのですけれども、個人情報に関する部分は契約を結んでおりますので、当然のごとく個人情報に配慮するという形で契約を結んでいるということでございます。ちょっとお時間をいただいて契約書を確認してよろしいですか。

○委員長（篠原正男君） この際、暫時休憩いたします。

休憩 午後 4時43分

再開 午後 4時46分

○委員長（篠原正男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明を続けてください。

芳賀税務課長。

○税務課長（芳賀善範君） 済みませんでした。仕様書の中で個人情報の部分に関しましては、情報の保護及び秘密の保持ということで、受託者は課税情報を初めとした個人情報を厳格に保護すること。また、当該業務で得られた情報は他の業務に一切使用してはならない。受託者は、業務完了時にファイルを初めとしたデータを完全に破棄すること。ニセコ町及び受託者双方とも契約の履行に関し知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。本項に定められた全ての事項は、契約期間満了後または解除後も存続するというような内容にしております。

○委員長（篠原正男君） 6番、三谷委員。

○6番（三谷典久君） 今のことに関してですが、個人情報の保護ということでわかりました。ただ、これ封入ということは書類を封筒に入れるということだと思うのですけれども、例えば間違ったりするとまたとんでもない話になるのですよね。そういうことに関しても恐らく何らかの歯どめのあるような条項なり仕様書がつけられているかと思うのですが、その点をお聞きしたいというのが1つと、それから先ほどの地方公共団体情報システム機構というのがこれたしかマイナンバーの関係だと思うのですけれども、今回は全然関係ないということで理解いたしました。それで、改めてちょっと1つ質問したいのですが、今回の予算の中にマイナンバー関係の予算が結構ある。毎

年のようにふえているわけです。これに関してちょっと質問させていただきたいのですが、マイナンバーカードの交付率が幾らなのか、その交付率と国は今マイナンバーに関してどのようなことを考えているのか、要するに全国的にやはりマイナンバーの普及が余りよくないと思う中で、国の今後の動向を教えていただければと思います。

以上、2点お願いします。

○委員長（篠原正男君） 芳賀税務課長。

○税務課長（芳賀善範君） 済みません。マイナンバーの関係は、ただいま国会のほうで、地方税法改正のほうで協議されている事項で、地方税法改正が施行されましたら、うちの町税条例も改正するというので、マイナンバーの記述については電子化の部分については継続するが、電子化ではない文書のやりとりの部分では掲載を必要としないというような法改正になるというふうに情報のほうが来ております。

それと、封入業務の確認ですけれども、現在も行っているのですけれども、印刷した後の確認作業というのは現在もしております。納品された後も同じような形で確認作業はする格好になるかと思っております。全件という形か、それはやり方はちょっとまだ初めてのことでですから検討している。具体的にどうするという部分はまだ詰めている状況ですけれども、そこら辺の確認作業は今後慎重に行っていきたいなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 横山課長。

○町民生活課長（横山俊幸君） 私は、関連してマイナンバーの交付率についてご質問ございましたので、お答えしたいと思いますけれども、2月末現在のニセコ町の交付率につきましては7.74%でございます、人口5,142人のうちの398枚が交付されているという状況です。あわせて国の動向ということでご質問あったのですけれども、国のほうはやっぱりマイナンバーを積極的に活用できるように、交付していけるようにという部分がございます、優良事例とか、そういった部分について広報とか、そういった部分では届いておりますけれども、実際にこういうふうにしなさいとかという部分では私もわかっていないところでございます。

以上です。

○委員長（篠原正男君） 片山町長。

○町長（片山健也君） 国の総務省の現在の動きでありますけれども、法務省と今協議に入っているのは土地の取引の状況をマイナンバーに打ち込んで、最終的には不明土地問題が今日本の社会で大きな問題になっていて、それで登記簿の情報をマイナンバーで取り込めないかという研究会を立ち上げるという情報だけ現在いただいております。

以上でございます。

○委員長（篠原正男君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

これをもって質疑を打ち切ります。

◎延会の宣告

○委員長（篠原正男君） 本日の予算特別委員会はこの程度にとどめ延会します。

次の予算特別委員会は、明日3月14日午前10時から本会議場で開きます。

本日はご苦労さまでした。

延会 午後 4時51分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

委員 長 篠原 正男(自署)